

幼稚園番号	1276468
園名	葛西めぐみこども園

すくわくプログラム活動報告書

テーマ 「音（音を聞いて、体験したことを共有して楽しむ）」

1. テーマの設定理由

3歳児（年少）クラスを対象として、身の回りの音の違いを探してみたり、楽器を使って音色の豊かさを体感しました。園児一人一人が楽器の練習を積み重ね、音楽会では大きな舞台上で演奏の発表をしました。活動の中でたくさんの楽器に触れ、園児同士楽しさを共有しながら音への興味関心を高めることができました。

2. 活動スケジュール

9月「身の回りの音を比べる」 保育室の壁や床などを叩いたりはじいたりして、身近な音の違いを探究する。
10月「楽器に触れてみる」 専門講師からのアドバイスを活かして、楽器の使い方から音の強弱や楽器による音の違いを楽しむ。
11月「音の振動」 スピーカーを用いて身近なものや楽器からの音の振動を体感し、響き方の違いを知る。
12月「音楽会」 練習した様々な楽器の鳴らし方を、クラスの皆で合わせて楽しく披露する。
1月「様々な本物の楽器に触れる」 様々な楽器に触れて、楽器ごとの音色を聞いて音への興味を広げる。
2月「手作り楽器作り」 廃材など身近なものを使用して園児自身が作りたいと思う楽器を作り、音を自由に表現する。
3月「手作り楽器発表会」 園児が作ったオリジナルの楽器を音楽に合わせてグループごとに演奏し、グループごとの違う音色を互いに共有する。

3. 探究活動の実践（活動の内容について）

〈活動のために準備した素材や道具〉

マラカス、ハンドベル、すず、タンバリン、カスタネット、太鼓、トライアングル、シンバル、ウッドブロック、シロフォン、ウインドチャイム、大型スピーカー、振動を感じやすい軽い玩具・紙、お菓子の箱やプリンカップなどの廃材、画用紙、輪ゴム、ペン、テープ類

〈環境の設定〉

・保育室内の壁・床・ドアや廊下を叩いて、園児自身が自由に音の違いを見つけられるよう保育者が園児に声がけをした。

- ・園児皆で楽しく合奏ができるような小物の楽器を複数用意した。
- ・大型スピーカーから音を出し、振動が視覚的にわかるよう紙や玩具をスピーカーの近くに置いて見せた。
- ・楽器や音への興味が広がるよう、活動が進むにつれてたくさんの楽器を用意し自由に演奏できる空間をつくった。
- ・廃材や画用紙・ペン・テープなどを用意し、園児達が考えて制作する手作り楽器のイメージや表現が広がるようにした。

〈活動中のこどもの姿・声、こども同士や教諭との関わり〉

- ・保育室内の様々な場所を叩いて、音の違いを保育者に伝えにきてくれる園児や、「園庭の物を叩いたらどんな音するか」と発言する園児がいた。
- ・小物楽器を手にとると、園児達は嬉しそうに楽器を鳴らし、周りの友達のを聞いてリズムに合わせて演奏ができた。
- ・大型スピーカーから大きな音が出ると、園児は次々とスピーカーに触ったり床に寝そべて音から出る振動を体感した。
- ・たくさんの楽器を用意した際は、園児達が各々自由に楽器を鳴らし、音や音色の違いに興味や関心をもっていた。
- ・手作り楽器は楽器の形・色など園児がそれぞれ作りたいものを考えて制作し、完成した楽器は友達同士で楽器紹介をしたり、音の鳴らし方を説明して共有していた。



4. 振り返り（振り返りによって得た先生の気づき）

楽器の使い方や音の振動など最初は保育者が音についての話をしたが、活動が続けていく中で自分の好きな楽器に駆け寄って触れてみたり、振動に着目して何回もジャンプして床の震えを感じたりと、園児自らが音に興味をもって楽しんでいる様子がみられた。手作り楽器作りの活動では園児達の自由な発想でオリジナルの楽器を作ったが、活動の中で様々な楽器に触れた経験からどんな楽器にしたいか想像して園児がアイデアを出し、手作り楽器作りにつながったのだと感じた。